



今年の成人式を盛り上げた実行委員のみなさん



いわみ

議会だより

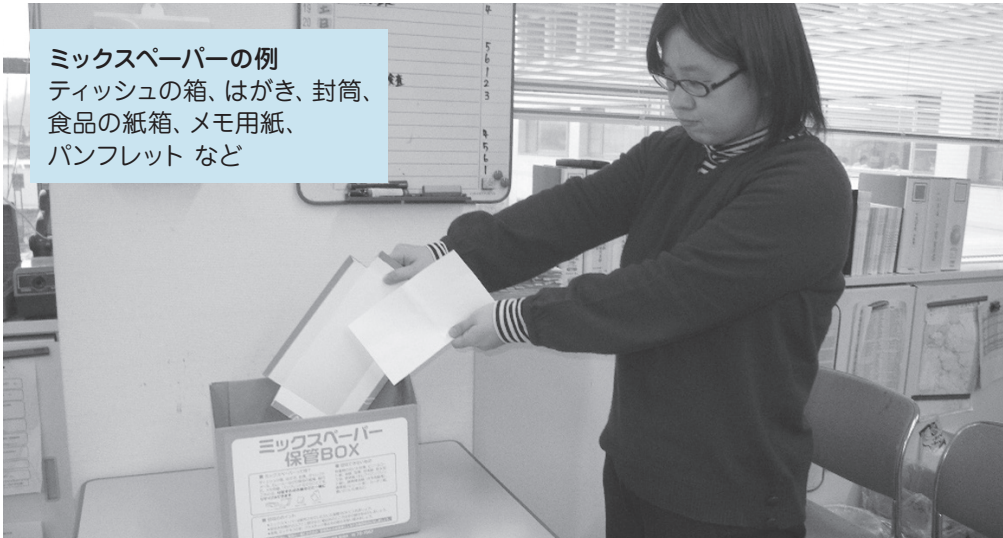
No.114
平成25年2月1日発行

12月定例会

- 2 ミックスペーパーを回収し可燃ごみ減量に挑戦
- 4 平成23年度決算を認定
- 6 一般質問 6議員が町政を質す
- 12 常任委員会行政調査報告
- 16 金婚者の声

ミックスペーパーを回収し 可燃ごみ減量に挑戦

回収保管ボックスを全世帯に配布



ミックスペーパーの例
ティッシュの箱、はがき、封筒、
食品の紙箱、メモ用紙、
パンフレット など

回収保管ボックス

12月定例会を、12月18日から20日
まで3日間の会期で開きました。
一般会計補正予算など10議案を町長
提案どおり可決するとともに、平成
23年度各会計決算を認定しました。

可決した主な 議案と審議の状況

一般会計補正予算

4,405万円を増額し、予算総額
を65億1,743万円としました。

歳出の主なもの

ミックスペーパーリサイクル推進事業 50万円
可燃ごみとして出されているミッ
クスペーパーを回収し、リサイクル
を推進するため、保管ボックスを全
世帯に配布。

◆質疑

問 ミックスペーパーの保管ボックスの
全世帯配布は、ごみ減量の狙いがある
が、効果をどのように見込んでいるか。

答 燃やすごみのなかでリサイクルで
きるミックスペーパーを取り除き、リ
サイクルすることが目的だ。
1回のごみ出で1キログラムの
ミックスペーパーと推定しており、全
世帯が取り組めば、年間で408トン
の減量につながるため、全量リサイク
ルを目標に取り組む。

情報通信施設管理運営事業費

186万円増額

インターネットなどの新規加入が
当初より46件増えるの見込み、工事
費を増額。

高齢者世帯等雪下ろし助成事業費 20万円

屋根の雪下ろしを自力でできない
低所得の高齢者、障がい者世帯に、
雪下ろしの経費の一部を助成。1回
1万円を上限とし、年2回まで助成。
20件分の予算を計上。

水田振興作物支援事業費 28万円増額

町の振興作物のうちで交付金単価
が前年の単価を下回る白ネギに対し
助成。

一般会計補正予算（専決処分）

総選挙及び最高裁判所裁判官国民審
査の経費1,189万円を、11月19日
付で専決補正。

公共下水道事業特別会計補正予算

岩本地内の公共下水道整備区域外に
民間宅地造成50区画が計画され、区域
を公共下水道区域に編入するための下
水道法および都市計画法の計画変更業
務の委託費400万円を計上。

新年のごあいさつ



議長 津村 忠彦

しているところであります。
昨年7月の町議会議員補充選挙により、3名の新議員が当選され、議員12名の定数がやっと揃い、本来の姿に戻りました。

町民の皆様あけましておめでとございませう。
輝かしい新春の幕開けを迎えるに当たり、議会を代表してご挨拶を申し上げます。

昨年は衆議院総選挙において、自民党が単独過半数を獲得し、3年ぶりに自公連立政権が復帰いたしました。

国民は多くの課題を解消し、元気な日本を取り戻してほしいと願っています。

地方分権の推進が年々強まる中、議会の果たす役割は広がりつつあり、議会の使命、責任はますます重大となっております。

議員は住民の代表であり、議会は地方公共団体の意思決定機関であることをしっかりと認識して、その役割と責任を果たすよう決意を新たに

また、先回の町議会議員の改選は町制初めて無投票となり、町民の多くの方から強いご批判をいただきました。

そこで、改選後初の9月定例議会で、無投票阻止と更なる議会の活性化をめざして、議会改革調査特別委員会を設置し、鋭意改革に取り組んでいるところであります。

現在は、議員の定数と報酬問題に特化して協議を深めており、今年の6月定例会までに結論を出す予定であります。

引き続き皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして、良い年となりますよう、お祈りして、新年のあいさつと致します。

介護保険特別会計補正予算

居宅の要介護者の福祉用具の購入見込みを24件追加、同じく住宅改修の見込みを16件追加。

職員の勤務時間の変更に伴う関係条例の整備に関する条例

町職員の勤務時間を、1日8時間から7時間45分に、1週間40時間から38時間45分に短くする。終業時間も午後5時30分から午後5時15分に変更。ただし、毎週火曜日、木曜日の窓口業務の午後7時までの延長はこれまでどおり実施。

◆質疑

問 職員にサービス残業を求めるか。職員組合とどのような話をしたか。

答 サービス残業をさせる考えはない。組合からは人事院勧告当時から要望があったが、終業時間を午後5時30分にしてから期間が短いことから変更しなかった。

県下各市町村が次々と変更する状況で、このたび改正に踏み切った。

問 病院では患者に影響は出ないか。

答 患者へのサービスと医療の安全の

対策を十分にとって実施したい。

岩美北小学校大規模改修工事（建築主体）の請負変更契約

岩美北小の校舎及び体育館の改修工事の請負契約を約1,401万円増額。外壁、渡り廊下などの改修の工法変更、児童玄関タイルなどの工事の追加。

町道路線の認定

浦富地内、宇治地内の宅地造成により築造され、町に寄付された道路を町道として認定し、管理する。
(浦富地内1路線、宇治地内5路線)

財産の取得

取得財産 ローター除雪装置1台
取得価格 997万円
納入業者 三洋重機株式会社
納入期限 平成25年2月28日

人事

人権擁護委員候補者の推薦を決めました。

橋本 町子（白地）

（敬称略）

平成23年度 決算を認定

平成 23 年度会計別決算額

(単位：百万円)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	6,134	6,015	119
住宅新築資金等貸付特別会計	1	1	0
代替バス運送事業	32	32	0
後期高齢者医療	133	133	0
国民健康保険	1,469	1,385	84
集落排水処理事業	136	136	0
公共下水道事業	465	465	0
介護保険	1,431	1,416	15
訪問看護ステーション	39	38	1
水道事業会計	238	244	△6
病院事業	1,983	1,931	52

9月定例会に上程された平成23年度一般会計歳入歳出決算ほか各会計の決算議案は、付託された決算審査特別委員会（竹中一浩委員長ほか9委員）で、11月1日に審査しました。その結果、各会計決算を認定すべきものと決定しました。更に、12月定例会で委員長報告を受け認定しました。

賛否の状況

一般会計ほか8会計を全会一致で認定。
国民健康保険特別会計と水道事業会計に田中克美議員が反対。

付帯意見

一般会計歳入

町税の未収金が5,622件、1億1,472万円、また、102件の111万円の不納欠損処分を行っている。

関係課が連携、協力して訪問徴収や差し押さえなどを実施し、インターネット公売などを活用して徴収に努力されている。

税以外の債権滞納者は、関係課と収納調整会議を開催し徴収方法を検討されているが、懸命に納税されている方々の理解を得るにも、悪質な滞納を許さず尚一層の努力が求められる。

景気低迷のなか、徴収に当り納税者の立場を考慮しつつ、税に対する不公平感を与えないよう努力されたい。

一般会計歳出

・第9次総合計画策定

策定にあたり、住民も参画しての「まちづくり委員会」、「総合計画審議会」などの開催を重ね、協働のまちづくりが浸透してきている。

こうした実績を踏まえ、経験を生かしながら、防災計画の策定にも取り組まされたい。



まちづくり委員会

・地域支え合い体制づくり事業

東日本大震災以後、地域の絆が見直され重要度を増している。

有事の際の要援護者の避難活動の支援に資するため、要援護者台帳の整備が急がれるところであるが、個人情報取り扱いが苦慮される。

町民の生命・財産を守る観点から自

治会と問題を共有し、社会福祉協議会と連携を一層密にしなが、早急に見守る体制を構築されたい。

・空き家活用による定住支援活動

空き家を円滑に活用できるように、所有者が不要な家財道具を処分する経費を補助しているが、仏壇の始末や改修に多額の費用がかかることから、空き家情報システムへの登録が増えない。

定住促進の取り組みが広がり、人口減少の抑制にもつながるので、行政懇談会での呼びかけなど、引き続き努力されたい。

・自主防災組織

東日本大震災のような大惨事は二度とあってはならない。

この災害を教訓とし、地域の課題を洗い出し地域における防災力向上のため、引き続き集落単位での自主防災組織の立ち上げを推進し、防災対策に全力で取り組まされたい。

財産

9月定例会で所有林の立木蓄積量を指摘し、再調査の結果が特別委員会でも報告された。

今後は、測定方法などを再点検し、適正な財産管理に努められたい。

代替バス運送事業特別会計

・利用促進

平成23年3月のダイヤ改正から、田後線と陸上線を統合した路線と町内のマーケットを経由する買い物便を運行している。

人口減少などにより減少していた輸送人員は、通学費への補助、地域ぐるみの乗合運動により乗車人員が増加しており、乗車数に適した車輛に更新するなど、経費削減にも努力されている。

今後も、地域の公共交通の確保を第一に考え、引き続き利用者確保と経費削減を図るとともに、利便性向上に努められたい。



町営バス（買い物便）

水道事業会計

・水道事業の運営

恩志水源取水施設の破損により濁水が発生する事故があった。
安心・安全な飲料水を供給できるように、万全を期す努力をされたい。

・有収率の向上

有収率は、広域水道84パーセント、簡易水道81パーセントでまた漏水箇所が存在している。

毎年、石綿管布設替工事を行っているが、漏水調査も徹底し、さらなる有収率向上に努められたい。

病院事業会計

・病院の運営

今年度も4,800万円と3年連続黒字決算となっており、あらゆる努力を重ねた経営努力が見受けられる。

全国的な医師・看護師不足など、経営にあたっては依然厳しい環境にある。

今後の医療の方向性をしっかり見極め、地域の信頼に応える公立病院として使命を果たすため、効率的・合理的な経営により、病院の実情にあった健全経営に努力されたい。

決算審査全体

平成23年度は、第8次総合計画の最終年度であり、今年度からスタートした第9次総合計画を策定する節目の年であった。

東日本大震災や円高による景気回復の遅れが懸念され、地方交付税の原資となる国税の伸びや町税の収入増は期待できる状況になく、財政見通しは楽観できるものではない。

限られた予算の中で最大の効果を挙げるよう意識しつつ、皆で知恵をしぼり、汗を流して、9次総の将来像にある「人がつながり 心をつなぎ 未来へつなげる岩美町」の実現のため、今後一層の努力を願うものである。

防災計画見直しの進捗はどうか

澤 治樹 議員

津波ハザードマップが今年度内にでき上がる

榎本町長



澤 治樹 議員

澤 東日本大震災以降、防災計画やハザードマップの見直しが行われているが、どの程度の進捗か。

町長 鳥取県に津波被害をおよぼす想定の見直しがなされ公表された。

それに基づき津波ハザードマップを今作成中であり、今年度内にはでき上がる。

澤 災害備蓄品を公共避難施設に分散配備の必要があると思うがどうか。

小田南滝を整備せよ

澤 治樹 議員

整備を検討したい

榎本町長

町長 現在3小学校の体育館が避難所になっており、3箇所に分散してはと考えている。

澤 南滝は、いこいの里整備事業の一環として整備されたが、現在河床は整備されてなく遊歩道は通行止めとなっている。再整備する考えはあるか。

町長 道路に落石の危険もあり事故が起こった場合。

合を考えると、やむを得ず通行止めにしなくてはならない。

南谷から出る河川の左岸側は歩道が整備され、木橋などを再度点検し、もう一回多くの方に滝を見て頂いたり、森林浴を兼ねて散策できるよう検討したい。



小田南滝

人身事故など万が一を想定し、安全対策がとれる間は通行止めをしなくてはならないと思っている。

い気がするが。

町長 確かに山は十分に言えない状況だ。

澤 「海と山と温泉の町岩美」をアピールするなかで、南滝は山の部分に当たると思うが少し弱い。

イングの場所として、十分に活用が図れると思う。再整備に向けて検討したい。

※1 スノーシューとは↓かんじきのこと。スノーシューで森を歩くスノーシューイングは、人気上昇中の冬のスポーツです。
※2 ツリーイングとは↓専用ロープと、安全ヘルトで高い木にからさがったまま登っていく、アウトドアレジャーです。

中学生の模擬議会再開を期待

澤 治樹 議員

町から強くは臨めない

榎本町長

澤 岩美中学校生徒による模擬議会の再開を働きかける考えはあるか。

澤 以前の質問で、前向きに検討すると答弁されたが、中学校と検討されたか。

町長 中学校とは模擬議会再開について相談してきているが、学校の現場がさま変わりし教育時間の中に取り込むことは非常に困難であり、先生方の負担になる。

町長 教育長が校長として話をしていて、しかし、町のほうから強い姿勢で臨めない。

いわみ音楽祭を継続せよ

河下哲志議員

今後も発展させていきたい

榎本町長



河下 哲志 議員

河下 平成25年は田村虎蔵先生の生誕140年を迎える。

我が国の音楽教育の先駆者でもあり、開拓者でもある。

顕彰する事業・イベントについて伺う。

町長 県の実行委員会では、わらべ館を中心に展示を行い、中西部にも巡回展示を行う計画だ。

メインコンサートを秋に梨花ホールで、サブコンサートを5月下旬に蒲生の一寸法師の館で、安田祥子さんを招いて行いたい。

いわみ音楽祭も顕彰事業として取り組む計画だ。また、蒲生の小・中学校跡地を、生誕140周年の記念に残る野外ステージとして活用したい。

河下 第26回いわみ音楽祭の開催は難しいと報告があった。

140周年を迎える節目の年に中止させるわけにはいかない。

町長 町は田村虎蔵先生を顕彰し、町民も偉大な音楽家、指導者を生んだ町として、自信と誇りを持つことが大事だ。

そして、この偉業を後世にしっかり引き継いで顕彰していく使命がある。いわみ音楽祭にこれまで取り組まれた皆さんに声をかけ、3月には開

催できることになった。今後も発展させていきたい。

河下 いわみ音楽祭を長く運営することが、官と民のこれからの協働のまちづくりに影響してくると思うが。

町長 町は財政的な支援や、継続した大会やイベントに向けての事務局の役割など、話し合って協力していきたい。



田村虎蔵 記念碑

文化団体連絡協議会の設立を望む

河下哲志議員

文化芸術の振興に結びつく文化団体の必要

榎本町長

河下 公民館を使用して文化サークルが29団体ある。

15年くらい前とほとんど変わっていない。

いま一度この文化サークルの情報を集める必要がある。

団体の設立につながる。

町長 主体的な取り組みがなされるような文化団体をぜひともつくり出さなければ、本当の意味での文化芸術振興に結びつかないと思う。

教育長 町民の皆さんに団体サークル・文化サークルについて紹介する資料として、正確な情報提供は必要だ。

新たな団体・活動団体などを調べ、リスト化したものをつくり上げていきたい。

河下 文化サークルだけでなく、本町の陶芸、美術、音楽、工芸など、プロの方々、小中学校・高校の団体や地域にも声をかけ、情報を集めると、文化団体連絡協議会という

男女共同参画条例を急げ

日出嶋香代子議員

3月議会に提案したい

榎本町長



日出嶋 香代子 議員

日出嶋 男女共同参画の基本法は、平成11年に可決され、県では、平成12年に条例化された。男女共同参画についての町長の考えを聞く。

町長 非常に遅くなったが、県下の状況を見る中で、本町もつくろうと思っている。

日出嶋 今、県下でこの条例がないのは、日野町と本町だけだ。

町長はいつごろ提案するのか。

町長 町には、男女共同参画推進懇話会とよく相

談して、3月の議会に出したいと考えている。

日出嶋 日本女性会議2012というのが仙台市で開催された。

この会議では、「復興、防災に女性の声を出す、拾う、生かす」をテーマに報告がなされ、この男女共同参画の推進こそ、日本社会再生の鍵である、と思う大会だった。

町長は、本町の条例に入りたいテーマや事業はあるか。

町長 条例では、テーマとか事業を含んだ内容にはならない。条例と計画とは違う。その辺を理解願いたい。



日本女性会議への参加

中央公民館を早く建設せよ

日出嶋香代子議員

延命化を図り使っていく

榎本町長

日出嶋 中央公民館は、住民、行政、それからサークル活動、文化交流の場として大いに利用されているが、築37年経ち老朽化が進んでいる。

利用しづらいとの声もあるし、毎年修繕費がかさんでいる。中央公民館は防災の拠点となると思うが、起債の償還が終わるのはいつ頃か。

町長 起債償還は終わっている。

日出嶋 災害時に安心して避難できる場所として、現在の中央公民館は建設を早める必要があると考えるが。

町長 私は一貫して公共施設、急ぐものから改修、耐震化する方針だ。

今、中央公民館は考えていない。

日出嶋 公民館の利用者は、年間1万3千人だ。前倒ししても将来設計を立てる考えはないか。

町長 これまでに維持補修を一生懸命してきた。延命化を図り使いましよというのが執行部の考え方だ。

幸齢化社会の実現を

芝岡みどり議員

全町民へ浸透していくことが重要だ

榎本町長



芝岡 みどり 議員

芝岡 本年度から実施の介護者家族交流会の参加状況と課題は。

福祉課長 月一回開催しており、3人のときもあれば、6人のときもある。オブザーバーとして介護相談員も参加している。

今は少ないが、介護者の仲間づくりや、ストレスの解消、情報交換の場として定着できるようにしたい。

芝岡 タッチパネル式検査機器の活用状況は。

福祉課長 月一回相談日を設け54名相談を受けている。

物忘れのみられる人は、かかりつけ医への相談を促したり、包括支援センターでフォローしている。

また、認知症サポート医との連携も図っていきたい。

芝岡 県の女性議員研修会の講師は、本町には5台は必要だと言われたが、増やす考えはあるか。また、予防を目的に活用し、適切な判断で認知予防につなげていくべきと思うが、今後の取り組みは。

町長 他町の取り組みを調査し、遅れがないよう町として頑張っていく。検査を強制するわけに



タッチパネルの利用風景

はいかないので、町全体の認識を高めていくことが必要だ。

芝岡 認知症予防に携わる人材育成が必要と考えるが。

町長 包括支援センターの保健師の充実や、資質の向上を図る。国の認知症オレンジプ

ランにある初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員、認知症予防専門士など詳細を勉強しながら注視していく。

芝岡 本町の橋や道路などの社会資本の安全性の点検状況は。

町長 社会資本インフラは町ばかりでなく、郵便局とかさまざまな町内企業、団体に協力を呼びかけて日常管理を行っている。橋梁は経過年数ごとに分類し、老朽度合、損傷状況などのチェックを入れている。

芝岡 「防災に強いまちづくり」は、ハード面のみでなく、災害発生時の避難、避難所運営などの取り組みが重要と思うが見解は。

町長 高齢者から子供まで、多様な避難者の立場に立った、適切な避難所の運営が重要だと思う。

防災に強いまちづくりを

芝岡みどり議員

今後もしっかりと取り組み

榎本町長

芝岡 住民の避難意識をどのように高めるのか。

町長 自治会や自主防災組織と連携を取ることが肝要だと思う。

芝岡 HUG（ハグ）避難所運営ゲームに取り組む必要があると思うが。

町長 まだ取り組んでいないが、今後しっかりと取り組む。

火災報知器の残は無駄づかい

松井俊明議員

100パーセント設置に
努力する
榎本町長



松井 俊明 議員

松井 平成23年6月に全家庭に火災報知器の設置が義務付けられたが。

町長 新築住宅は18年6月、その他は23年6月から義務化となった。罰則はないが大切なことなので、町主導で1世帯1個設置を決めた。

松井 受け取り辞退131個の中身はどうか。

総務課長 新築や自分で設置して必要ないという家庭の数だ。

松井 火災報知器は1個3,307円、辞退した



火災報知器

町長 家庭に1個分返金するのが平等、公平ではないか。
松井 補助費的な扱いとすべきではなく、公平は欠かれないと考えている。

松井 配布不能数が426個もあるのはなぜか。

町長 自治会や消防団の協力も得て訪問し、不在が426人。期限を決め終えたいと思う。

松井 現在の残りは。

総務課長 配布3,293個、残り607個、意思

未確認の個数が426。

松井 平成23年2月から現在まではどうか。

総務課長 昨年6月から406個配布している。

松井 意思確認して購入はできなかったのか。

町長 100パーセント設置をめざし、希望を取るやり方はしなかった。

松井 607個、約200万円は無駄づかいだ。

町長 町の責任ですみやかに配布する。

観光協会一本化に町長が先頭をたて

松井俊明議員

一本化をお願いしている
榎本町長

松井 町の観光発展のために、観光協会の一本化を望む。

町長 町長が先頭になり、協会運営を指揮したらいいと思うがどうか。

な組織であり、ふさわしくないと考え退いた。

松井 町長が会長になってから今まで、一本化はどうなっているか。

町長 要請があつて平成17年度から19年度まで、観光協会の会長をした。しかし、民間の主体的

町長 会長になって以来現在まで、一本化すべきだと思っている。



観光協会と常任委員会との意見交換会

職員を防災のセミプロとして 育成する必要がある

田中克美議員

技能・能力を身につけた チームを検討したい

榎本町長



田中 克美 議員

田中 防災の取り組みを集落単位で進める必要があるが、支援できる職員の育成が必要だ。

町長 自主防災組織への参加、地域防災の活動協力員の養成講座を受講させる。

田中 講座の受講だけでなく、職員のセミプロ化への育成を進めるべきだ。

町長 より高度な技能や能力を身につけた職員の選抜、チームを組むことを検討する。

田中 防災減災のための財政支援制度の促進をどう思うか。

町長 県の防災管理対策交付金の活用、国土強靱化構想もあり、避難のための施設整備に全力で取り組む。

田中 防災会議が開れないままでハザードマップを完成させるのか。

町長 1月中には防災会議を開催し、意見をいただく。

田中 本町の防災会議の役割は。

町長 災害に関する行政への助言を担う専門機関。しかし、町外の委員がほとんどで全員揃うことが難しい。

町が責任を持ち、話し合いを進めながら集落ごとの防災計画・避難計画を整備していくのが現実的だ。

東部広域管理者会議の合議制 が保証されるべきだ

田中克美議員

八頭3町と統一した行動を とりたい

榎本町長

田中 東部広域可燃物処理施設整備計画に対する知事の意見書が出ているが管理者会議で報告・論

議がされたか。また、環境影響評価の手続きに管理者会議は関与したか。

町長 管理者会議での報告・論議・説明はなく専門的分野のため、説明を受けているだけ。

田中 知事意見書は住民意見に対しては十分な対応と、情報公開に努めるよう求めている。

準備書の修正点が21項目あり、東部広域の誠実さが疑われている。

町長 東部広域は調査結果や事後調査の指摘のクリアに努める考え方である。

田中 国英の処理場計画が進まないため、鳥取市は神谷清掃工場の稼働延

期を交渉している。事前に構成4町に話があるべきだが、事後報告で、合意内容は公にしてくるなど言われたらしいがその内容は。

町長 11月、鳥取市は4年間の神谷清掃工場延期について協定をした。

その後、鳥取市役所で、市長より4町に対し、稼働延長の説明があった。内容を公にしたことを市長は責めたが、八頭3町と意見交換をしながら対応する。

田中 鳥取市だけの意思で行動しているが、事業執行過程で1市4町の合議制が保証され、神谷清掃工場延長の経過に町長が関わっていれば、不透明な対応にならなかった。

町長 鳥取市は神谷清掃工場が市の施設だとの考え方で、市主導で物事を進めることは目に見えている。



神谷清掃工場

総務教育常任委員会

地元公立高校存続の取り組み

長万部町には、町立小学校3校、中学校1校、道立高校が1校と本町と学校数が同じである。

道立長万部高等学校は、少子化による学生数の減などの理由により、北海道教育委員会策定の高校適正配置計画による存続問題を抱えるところとなっていた。

長万部町は、各種の支援を実施することにより生徒数の確保を図り、長万部高校の存続への取り組みを行っている。

本町の県立岩美高等学校も同様の課題を持っているため、取り組みを調査し、岩美高校の存続を実現するための取り組みの参考とする。

調査日 平成24年9月26日

午前10時～午後0時

調査先 北海道山越郡長万部町

調査の概要

- 長万部高校に対する援助について
- ・援助に種類と内容



長万部町

- ・近隣の自治体との連携
- 中高一貫教育について
- ・導入の経過
- ・中高一貫校の種類 連携型
- ・連携型中高一貫教育の概要

調査のまとめ

高校適正配置計画により、間口減や募集停止などへの歯止めには生徒数の確保が必須であることから、各種の支援を行い一定の効果を出している。

長万部町が実施している各種の支援事業を参考にしながら、本町に適した

助成事業等を検討すべきである。

岩美町では今年5月には、「岩美高校の在り方を考える会」が設立された。

本議会は、これらの動向も把握し、「地域の子供は地域で育てる」という理念を掲げ、関係者との連携の在り方を探っていくことが急務と考える。

ジオパークの活用について

山陰海岸ジオパークは、平成22年10月に世界ジオパークネットワークへの加盟を果たし2年が経過しようとしている。

ジオパークを活用して、より多くの方々に本町の魅力を感じていただき、町の活性化につなげることが必要と考える。

洞爺湖有珠山ジオパークは世界ジオパーク加盟第1号として3年が経過し、再審査に備えようとしている。

その状況を調査し、本町のジオパークの活用についての取り組みの参考とする。

調査日時 平成24年9月26日

午後1時30分～午後3時30分

調査先

洞爺湖有珠山ジオパーク
推進協議会

調査の概要

○洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会
視察

- ・世界ジオパーク認定までの経緯
- ・洞爺湖有珠山マイスター制度
- ・ジオパークパートナー登録制度
- ・ジオパークの集客効果
- ・民間の取り組み
- ・再審査に向けた取り組み

調査のまとめ

北海道と関係自治体などによる推進協議会とが共同で設置したマイスター制度により、認定を受けたマイスターが地域の防災リーダーやジオパークの魅力の発信役として重要な役割を担う



推進協議会の担当者

産業福祉常任委員会

陸上養殖の先進事例を調査

【今回の行政調査の目的】

鳥取県は陸上養殖に着目し、その普及につなげるため、平成24年度から県栽培漁業センターで井戸海水（地下海水）による陸上でのサバの養殖技術の開発にのりだした。同時に、網代漁港、泊漁港、赤碓漁港で井戸海水の調査を行ない、網代港区域内3地点の試掘で、水量、水温、塩分濃度など養殖に必要な条件を備えているとの結果が得られた。

町の漁業振興を図るため、陸上養殖についての研究・研鑽を深める必要性を感じ、陸上養殖のパイオニア的な存在である2研究施設を視察した。（調査報告の詳細は12月18日付報告書をご覧下さい）

調査日 平成24年10月9日

午後1時30分～午後4時

調査先

福山大学生命工学部附属内海生物資源研究所

調査の概要

同大学海洋生物科学科の伏見教授から、水産業の現状と魚介類生産における陸上養殖の役割及び同研究所の取り組み等について約1時間の講義を拝聴し、質疑・応答をした。

海面養殖では、餌の残りがすや糞尿、アンモニア等の有機物が海水を汚染し、赤潮発生といった環境汚染問題を引き起こす原因にもなっている。同施設では、陸上の巨大なエアドームハウス内に水槽を設置し、魚の排泄物や餌の残りがすは特殊ろ過装置で除去し、糞尿から発生するアンモニアは、微生物や藻類を活用しながら分解させ、きれいになった海水を水槽に循環させて再利用している。

養殖には、施設設計や餌の作り方・与え方、照明・水温管理の方法といった様々な技術が必要だが、例えばオコゼでは、約3年の飼育期間をほぼ半減し、一定の大きさに揃える技術も確立している。

閉鎖空間での循環養殖システムは、外部からの病気の侵入を防ぎ、薬品を使用しない安全な成魚を生産できる。病原菌や天候の影響を受けにくく、年間を通じて安定した高品質の商品供給が可能。

ある程度の閉鎖空間内に水・海水を循環させることで、年中安定的に安心・

安全な食料を生産し、化学肥料や水資源の大幅な削減につなげ、外部への環境負荷を軽減できる。

今後の食料確保には陸上養殖しかないと思うが、設備投資と維持費、技術者の育成など、事業としての採算性への見極めが必要。



洞爺湖ビジターセンター



福山大学生命工学部附属内海生物資源研究所

ており、ガイドの枠を超え地域のリーダー「顔」となりうる人材育成を図ることは、ジオパークの魅力に発信とともにまちづくりにとっても重要である。

本町では、ガイド養成を観光協会が主体で行っているが、その一歩進んだマイスター制度やジオパークパートナー制度の取り組みを参考に、県、町、推進協議会が一体となった取り組みへきである。

調査日 平成24年10月10日

午後1時30分～午後4時

調査先 東海大学フロンティアリサーチセンター

(産学連携研究センター)

調査の概要

同大学区海洋学部水産学科の秋山信彦教授は、地下水水を利用した魚類の飼育技術のノウハウを持ち、そのノウハウを活用してWHA(株)と共同でクロマグロの陸上完全養殖システムの開発研究を進めている。マグロのみならずほかの魚類でも利用可能で、汎用性の広い技術である地下水水を利用した養殖技術について伺った。

クロマグロの陸上での完全養殖をめざした研究は、平成18年度より開始され、直径5mの水槽4個で飼育に関する基礎データを取っている。システムの最大の特徴は、地下水水を利用してること。

この地下水水は、年間を通して一定の水温(17～21℃)、無酸素であるため好気性細菌類が皆無。つまり清浄で魚類飼育にとって適した温度の海水を取水することが可能。

地下水水をかけ流しではなく、地下水水だけ使用する半循環方式で水使用量を減らしても、水温や水質に影響を



東海大学海洋学部 秋山信彦教授研究室

及ぼさない方策を考案。

汲みすぎると地盤沈下するのは、海でも淡水でもかわらない。揚水限界量の範囲であれば問題ない。

使用の地下水水はまったく酸素がな

いため、酸素を必要とするような細菌がまったく繁殖しない。

地下水水は無菌ではない。嫌気性(ボツリヌス菌など)細菌が存在する可能性、繁殖する可能性もある。

陸からの水が入らないという意味では、かなり清浄。

万全を期して酸素を入れなければならない。

発生する汚物などは、かけ流してもフィルターを付ければ、海で養殖するよりはるかに汚さない。駿河湾の水質をチェックしたが、そこよりもアワビを飼った水の方がはるかにきれいだった。

海の水の取水には国土交通省の許可が必要。漁業権に関係なくやれるのが陸上養殖のメリット。

国内の漁業生産の3分の1から4分の1が養殖。それを考えると、養殖はしていかねければならない。

日本での養殖は安全性が確保できる。

ブリや真鯛を大量に生産して販売するのは、陸上養殖には向かない。陸上と海面の差別化が必要。

半循環式とかけ流しでは、コスト面から考えて絶対かけ流しの方がよい。

調査のまとめ

陸上養殖を岩美町に於いて事業として展開していく上での課題と打開の方向は、今後いっそうの研究が必要だと考える。常任委員会として調査研究するテーマの一つとして、今後継続して取り組んでいきたい。

12月定例会提出議案に対する各議員の賛否の状況

提出者	審議結果	議案名	議 員 名													
			田中伸吾	河下哲志	松井俊明	澤治樹	竹中一浩	日出嶋香代子	芝岡みどり	柳正敏	船田爲久	田中克美	船木祥一	津村忠彦		
町長	承認	平成24年度一般会計補正予算(第6号)の専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	鳥取県東部広域行政管理組合理約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	職員の勤務時間の変更に伴う関係条例の整備に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	字の区域の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	岩美北小学校大規模改修工事(建築主体)の請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	平成24年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	平成24年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	平成24年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	答申	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	可決	会議規則の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	可決	委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	可決	看護師等養成所の誘致に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成・×は反対。 ※津村議長は本会議の採決に加わらない。

陳 情 審 査 結 果

件名	審査結果	不採択理由
し尿収集運搬料金の改定について(陳情) 岩美町大字高山62番地1 協同組合岩美町環境事業公社理事長 田中 清一 外2名	不採択 全会一致	陳情者は岩美町においてし尿収集運搬の許可を受けていない。
「合税法」に基づく「代替業務」の陳情について 岩美町大字高山62番地1 協同組合岩美町環境事業公社理事長 田中 清一 外2名	不採択 全会一致	陳情者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定により、一般廃棄物収集運搬業の許可の取り消し及び浄化操法により浄化槽清掃業を不許可とされた者及び一般廃棄物収集運搬業の許可を受けていない者であり、「合税法」に規定する業者に該当しない。
島根原発1号機・2号機の再稼働反対と3号機の建設凍結を求める陳情書 米子市角盤町4の21 反核・平和の火リレー鳥取県実行委員長 小谷 明寛	不採択 採択賛成者 田中克美 日出嶋香代子 反対者 9名	原発の安全性に問題のあることは確かだが、今直ちに中止することには疑問がある。
原子力から再生可能な自然エネルギーへのエネルギー源の転換を求める陳情書 米子市角盤町4の21 反核・平和の火リレー鳥取県実行委員長 小谷 明寛	趣旨採択 全会一致	
妊婦健診と、ヒブ、小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を国に求める意見書提出の陳情 鳥取市田島454-4 新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子	採択 全会一致	
少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択を求める陳情書 鳥取市大榎町7-1 教育会館 鳥取県教職員組合東部支部長 棚田 厚 外1名	採択 全会一致	
「合理化事業計画」の策定についての陳情書 岩美町大字高山62番地1 岩美清掃有限会社代表取締役 田中 正重 外2名	不採択 全会一致	陳情者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定により、一般廃棄物収集運搬業の許可の取り消し及び浄化操法により浄化槽清掃業を不許可とされた者及び一般廃棄物収集運搬業の許可を受けていない者であり、「合税法」に規定する業者に該当しない。

なお、継続審査となった陳情は次のとおりです。

件名
沖縄県民の命を危険にさらし、墜落と死の恐怖の押し付けを許さない オスプレイの普天間基地への配備中止を求める陳情書 岩美町大字高山60-1 田中 清一

金婚を迎えられた方々の声



奥谷勝正さん、容子さん

50年長いようで短かったような気がします。50年の間には色々ありましたが、今一緒に迎えることができたのは幸福だったと思います。これからも、いつまでも一緒にいられるかわかりませんが仲良くいたいものです。



清水秀美さん、紀子さん

感無量です。これも家族、地域の皆様方のおかげかと感謝しております。仕事一筋、後半社会還元のこと考えながら仕事に打ち込んできたことを誇りに思っております。残された人生、腹七分の思い、「知足」の思いで、あとの二分、三分はできるだけ地域や家族に恩返ししながら生きていきたいと思います。



中島節夫さん、久代さん

改めて過去50年を反省する機会を与えられました。



舛井京一さん、きみ子さん

今日という日を無事に迎えられたことを感謝しております。周囲の皆様にも感謝しております。これからも微力ながら皆様にお世話になりながら長くしていきたいと思っております。役場の皆様をはじめ、世話役の皆様、ありがとうございました。



山田哲也さん、富子さん

健康で金婚を迎え感謝しております。本日の関係者の皆様により感謝いたします。本当にありがとうございました。

議会だより調査特別委員会委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	副委員長	副議長	議長
田中	河下	松井	澤井	竹中	柳中	田中	芝岡	船木	津村
伸吾	哲志	俊明	治樹	一浩	正敏	克美	みどり	祥一	忠彦

編集後記

今年の干支「癸巳」には、蓄積してきた力を放出して時代を変えていく意味がある、とされています。

今年、山陰海岸国定公園に認定されて50周年、山陰海岸ジオパークの認定から3周年と、節目の年となります。

1年後には、駒馳山バイパスも開通し、本町の未来図を思い描く夢膨らむ年となります。

巳は、脱皮することによって大きく成長すると言われています。

今年が、大きく飛躍する年となるよう頑張りたいものです。